

# 第151回柏崎しんきん地区内経済指標

(平成20年10月)

柏崎信用金庫

## 1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

地区別	人口			世帯		
	人数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
中心部	9,909	-2.02	-0.22	4,058	-0.80	-0.12
東部地区	14,336	0.10	0.41	5,615	0.93	0.44
西部地区	10,849	0.43	-0.07	4,004	1.23	0.12
駅南地区	6,407	-0.52	0.26	2,672	1.13	0.56
半田地区	3,595	1.06	0.55	1,331	2.54	0.98
横山地区	5,670	-0.33	0.10	1,844	-0.32	-0.05
茨目・田尻地区	6,948	0.81	0.31	2,307	0.69	0.61
荒浜地区	5,194	-1.04	-0.42	2,012	-0.09	-0.54
その他地区	21,296	-1.61	-0.10	7,177	-0.22	0.00
西山町地区	6,410	-1.77	-0.14	2,145	-0.09	0.09
高柳町地区	2,000	-3.33	-0.14	843	-1.28	0.35
柏崎市計	92,614	-0.74	0.03	34,008	0.32	0.17
刈羽村	4,951	-0.70	0.02	1,539	1.31	0.00
小国地区（長岡市）	6,560	-1.24	-0.12	2,163	0.55	-0.13
出雲崎町	5,283	-1.85	-0.13	1,825	-0.38	-0.21
合計	109,408	-0.82	0.02	39,535	0.34	0.13

（資料出所：柏崎市、各市町村）

地域全体の人口動向は、前年同月比では引き続き全ての市町村・地区で減少しており、柏崎市で692人、0.74％、刈羽村で35人、0.70％、小国地区（長岡市）で83人、1.24％、出雲崎町で100人、1.85％とそれぞれ減少し、全体では910人、0.82％の減少となった。

また、前月比においては、小国地区で8人、0.12％、出雲崎町で7人、0.13％と減少したものの、柏崎市で37人、0.03％、刈羽村で1人、0.02％と増加したことから、全体では23人、0.02％の増加となっている。

一方、世帯数は、前年同月比では出雲崎町で7世帯、0.38％と減少したが、柏崎市で110世帯、0.32％、刈羽村で20世帯、1.31％、小国地区で12世帯、0.55％と増加した結果、全体では135世帯、0.34％の増加となった。

また、前月比においても、小国地区で3世帯、0.13％、出雲崎町で4世帯、0.21％と減少したものの、柏崎市で60世帯、0.17％と増加したことから、全体では53世帯、0.13％と増加している。

## 2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

	柏崎職安	新潟県	前年同月比		前月比	
			柏崎	県	柏崎	県
月間有効求人	1,000		-21.25		-5.39	
月間有効求職者	1,075		-6.19		3.06	
月間有効求人倍率	0.93	0.71	-0.18*	-0.32*	-0.08*	-0.04*

\*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況（パートを除く常用）では、月間有効求人数が1,000人と前年同月比で270人、21.25％の大幅な減少、前月比でも57人、5.39％と減少している。

一方、月間有効求職者数は1,075人と前年同月比で71人、6.19％と減少したものの、前月比では32人、3.06％の増加となった。

以上の結果、月間有効求人倍率は0.93倍と平成19年5月以来1.00倍を割っており、前年同月比で0.18ポイント下回り、前月比でも0.08ポイント下回ったが、県平均0.71倍に対しては0.22ポイント上回っている。

また、新規求人・求職状況（パートを除く常用）については、月間新規求人数が313人と前年同月比で165人、34.52％の大幅な減少となったが、月間新規求職者数は339人と前年同月比で25人、7.96％と増加した結果、月間新規求人倍率は0.92倍と前年同月の1.52倍に対して0.60ポイント下回っている。

### 3. 建築確認申請

【単位：件】

	当 月 の 申 請			平成20年10月の累計	
	件 数	前年同月比	前 月 比	件 数	前年同月比
一 般 住 宅 ( 併 用 )	77	-37	3	651	399
共 同 住 宅	0	0	-2	4	-3
事 務 所	1	0	1	7	2
作 業 所 ・ 工 場	2	-1	-1	15	-1
営 業 建 物	2	2	2	26	12
公 共 建 物	0	0	0	1	0
そ の 他	13	2	3	87	21
合 計	95	-34	6	791	430

(資料出所： 柏崎市)

建築確認申請の状況は、当月の申請合計が95件と前年同月比で34件の減少となったが、前月比では6件の増加となっている。工種別内訳での主な増減は、前年同月比では一般住宅（併用）が37件の大幅な減少となっている。

なお、工種全体の申請内容は、新築が39件、増築が41件、改築が15件となっている。また、一般住宅（併用）77件における市内・市外施工業者別の確認申請は、市内施工業者が41件（うち新築11件、増築21件、改築9件）、市外施工業者が36件（うち新築18件、増築13件、改築5件）となった。

### 4. 電力使用量

【単位：口、千kwh、%】

	契 約 口 数			使 用 量		
	口 数	前年同月比	前 月 比	使 用 量	前年同月比	前 月 比
電 灯	66,220	1.23	0.03	16,935	-1.53	-4.96
電 力	11,348	-3.02	-0.30	45,596	-6.07	-7.58

(資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所)

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。  
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比で810口、1.23%の増加、前月比でも22口、0.03%の増加となった。一方、電力では前年同月比で354口、3.02%の減少、前月比でも35口、0.30%と減少している。

使用量は、電灯が前年同月比で264千kwh、1.53%の減少、前月比でも884千kwh、4.96%と減少している。一方、電力においても前年同月比で2,948千kwh、6.07%の減少、前月比でも3,742千kwh、7.58%の減少となっている。

### 5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m<sup>3</sup>、%】

	ガ ス 供 給 量			水 道 給 水 量		
	供 給 量	前年同月比	前 月 比	給 水 量	前年同月比	前 月 比
家 庭 用	779,855	6.84	10.49	713,184	0.16	-6.30
営 業 用	154,194	7.00	-23.14	127,825	-4.86	-11.74
工 場 用	663,275	26.65	-17.17	154,608	0.71	-3.66
官 公 学 校 用	202,705	4.43	-41.81	83,481	-6.51	-9.47
そ の 他				241	72.14	24.87
合 計	1,800,029	13.08	-12.43	1,079,339	-0.91	-6.86

(資料出所： 柏崎市ガス水道局)

柏崎地域でのガス供給量は、用途合計では前年同月比で208,295m<sup>3</sup>、13.08%と大幅に増加したものの、前月比では255,567m<sup>3</sup>、12.43%と大幅に減少している。用途別内訳を見ると、前年同月比では全ての用途で増加しており、前月比では家庭用を除く全ての用途で減少している。

一方、水道給水量においては、前年同月比で9,942m<sup>3</sup>、0.91%の減少、前月比でも79,607m<sup>3</sup>、6.86%の減少となった。用途別内訳を見ると、前年同月比では営業用、官公学校用で減少しており、前月比ではその他を除く全ての用途で減少している。

## 6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

	入 口			出 口		
	台 数	前年同月比	前 月 比	台 数	前年同月比	前 月 比
柏 崎	104,104	15.08	8.92	108,324	14.81	9.43
西 山	70,503	26.51	6.45	66,435	33.23	5.18
米 山	31,213	14.66	7.94	28,347	9.63	3.09
合 計	205,820	18.69	7.91	203,106	19.43	7.09

(資料出所：柏崎市産業振興部観光交流課)

柏崎地域の物流指標となる高速道路出入口の交通量は、入口においては全体で前年同月比が前年の中越沖地震の影響から32,420台、18.69%の大幅な増加、前月比でも15,104台、7.91%と増加している。

一方、出口においても同様に、全体では前年同月比で33,046台、19.43%と大幅に増加、前月比でも13,461台、7.09%の増加となっている。

インター別の内訳を見ると、全てのインターの入口・出口で前年同月比・前月比ともに大幅に増加している。

## 7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

	預 金			貸 出 金		
	残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
末 残	348,143	2.41	0.72	149,713	5.38	0.02
平 残	346,018	2.99	-1.08	146,624	6.72	2.12

預金は、末残が前年同月比で8,196百万円、2.41%の増加、前月比でも2,515百万円、0.72%の増加となった。また、平残においては前年同月比で10,053百万円、2.99%と増加したものの、前月比では3,793百万円、1.08%と減少している。

一方、貸出金においては、末残が前年同月比で7,648百万円、5.38%の増加、前月比でも40百万円、0.02%と増加している。また、平残においても、前年同月比で9,234百万円、6.72%の増加、前月比でも3,047百万円、2.12%と増加し、末残・平残ともに堅調な推移を示している。

## 8. 市内手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

	枚数/金額	前年同月比	前 月 比
交 換 枚 数	5,230	-12.65	-10.12
交 換 金 額	6,052	24.25	9.35
不 渡 り 手 形 枚 数	6	0.00	0.00
不 渡 り 手 形 金 額	3	0.00	0.00

(資料出所：柏崎手形交換所)

柏崎手形交換所における手形交換高は、交換枚数が前年同月比で758枚、12.65%と大幅に減少、前月比でも589枚、10.12%と減少している。しかし、交換金額においては前年同月比で1,181百万円、24.25%の大幅な増加、前月比でも518百万円、9.35%と増加した。なお、不渡手形は6枚、3百万円が発生している。

法的整理（負債1,000万円以上）による県内企業倒産7件（前年同月5件、前月4件）、負債総額14億円（同12億円、同82億円）、1件当たりの負債額2億円（同2億円、同20億円）となった。地区別では下越地区で6件（新潟市4件、五泉市1件、胎内市1件）、中越地区で1件（三条市1件）発生し、上越地区では発生していない。業種別は建設業3件、製造業2件、運送業2件となっており、倒産原因別については、発生した7件全てが販売不振となっている。

当月の企業倒産は7件、負債総額で14億円と前年同月比では件数で2件増加、負債総額では2億円の増加となっている。なお、負債総額10億円以上の大型倒産は発生していない。

県内における今年の倒産件数は平成20年10月までで57件と、昨年年間合計の59件を上回る可能性が高い。当月も原材料の高騰による倒産が発生し、原油価格は下降しているものの、外需の低迷や円高などが原因で輸出関連企業から景況感の悪化が聞かれるほか、個人消費の減速懸念などから、当面、経済環境は厳しい状況が続くものと思われる。